

はじめに

この度は、W-CDMA / HSDPA携帯電話H11T (以下、本製品) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先(17-23ページ)までご連絡ください。

ご注意

- ・ 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・ 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- ・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先(17-23ページ)までご連絡ください。
- ・ 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

- | | | |
|------------------------------|--------|---------------------------|
| ●電話機 | ●電池パック | ●電池カバー |
| ●ACアダプタ | ●卓上ホルダ | ●USBケーブル |
| ●イヤホンマイク | ●取扱説明書 | ●かんたんスタートガイド
(簡易取扱説明書) |
| ●BeatJam 2008 for H11Tガイドブック | | |
| ●インストールディスク (CD-ROM) ※1※2 | | |

※1 試供品です。オプション品としてのお取扱いはございません。

※2 付属のインストールディスクは予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

なお、最新版インストールディスクはイー・モバイルホームページ内 (<http://emobile.jp/>) よりダウンロードいただけます。

- その他オプション品につきましては、お問い合わせ先(17-23ページ)までご連絡ください。
- 本機は、microSD™メモ리카ード(以降、メモ리카ードと記載)を利用できますが、本製品にはメモ리카ードが同梱されていません。メモ리카ードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモ리카ードをご利用ください。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず右記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

- ※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするため返却できません。
- ※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報(アドレス帳・通信履歴・メール等)は事前に消去願います。

目次

本書の見かた	iv
ソフトボタンの使いかた	iv
安全上のご注意	v
お願いとご注意	xiii
商標・特許	xvi
携帯電話機の非吸収率（SAR）について	xvii
ソフトウェア使用許諾契約書	xviii

1 ご利用になる前に

EM chip のお取り扱い	1-2
各部の名称と機能	1-4
本体の開閉のしかた	1-9
電池パックと充電器のお取り扱い	1-10
電源を入れる／切る	1-14
日付／時刻の設定	1-15
機能の呼び出しかた	1-16
暗証番号	1-20

2 電話機能

電話をかける	2-2
電話を受ける	2-4
電話に出られないとき	2-4
着信を拒否する	2-5
通話中の操作	2-5
通話履歴の確認	2-6
ご自分の電話番号の確認	2-8
緊急通報について	2-9
緊急通報位置通知について	2-9

3 文字の入力方法

文字入力について	3-2
文字の入力方法	3-3
文字の変換機能	3-8
文字の編集	3-11

4 アドレス帳

アドレス帳の登録	4-2
グループ設定	4-6
アドレス帳の利用	4-8
アドレス帳の編集	4-10
ユーザ情報について	4-10
アドレス帳の設定	4-11

5 メール

メールについて	5-2
ご自分のEメールアドレスの確認	5-2

メールアドレスの変更	5-2
新着メールの確認	5-3
受信したメールの確認	5-4
Eメールの作成／送信	5-4
SMS の作成／送信	5-9
下書きの利用	5-11
メールボックス	5-12
メールの各種設定	5-20

6 EMnet / インターネット

EMnet / インターネットをご利用になる前に	6-2
情報画面の操作のしかた	6-3
ホームページへのアクセス	6-4
インターネットへのアクセス	6-5
画面メモ	6-5
ブックマーク	6-6
セキュリティロックを設定する	6-8
情報表示中の各種操作	6-9
ブラウザの設定	6-14

7 カメラ

カメラについて	7-2
静止画について	7-7
静止画撮影で利用できる機能	7-9
動画について	7-11
動画撮影で利用できる機能	7-13
QR コードについて	7-14
静止画／動画の設定	7-15
撮影した静止画／動画の確認	7-19
撮影した静止画／動画を送信する	7-20
撮影した静止画を編集する	7-20

8 デジタル TV

デジタル TV について	8-2
デジタル TV を利用する	8-4
デジタル TV 設定	8-11

9 メディアプレイヤー

メディアプレイヤーについて	9-2
メディアファイルを再生する	9-3
プレイリストを利用する	9-5
再生履歴を利用する	9-6
ストリーミングする	9-6
メディアプレイヤーのその他の機能	9-7
ミュージックプレイヤーについて	9-10

10 データ管理

データフォルダについて	10-2
保存されているファイルの確認	10-4
ピクチャファイルの利用	10-8
ミュージック／メロディ／Flash®の利用	10-8
vファイルの利用	10-9
フォルダ／ファイルの編集	10-10
メモ리카ード	10-14

11 外部接続

赤外線通信について	11-2
赤外線通信の利用	11-2
Bluetooth®について	11-5
Bluetooth®通信の利用	11-7
Bluetooth®の設定	11-11
USBについて	11-13

12 各種設定

音の設定	12-2
ディスプレイの設定	12-7
キーの設定	12-14
サブメニュー履歴の設定	12-14
応答の設定	12-15
着信拒否の設定	12-15
電波オフモードを設定／解除する	12-16
通知設定	12-17
優先動作設定	12-17
メモリ設定	12-18
ネットワーク設定	12-18

13 セキュリティ

無断で使用されたくないとき（端末操作ロック）	13-2
機能ロック	13-3
シークレットモードの設定	13-3
リセット	13-4
端末暗証番号の変更	13-4
PIN 設定	13-5
制限モード	13-6
誤操作防止設定	13-8
ホールド	13-9

14 便利な機能

アラーム	14-2
簡易留守録	14-4
メモ帳	14-5
電卓	14-6
辞書	14-7
カレンダー	14-7

予定	14-16
時間割	14-20
キッチンタイマー	14-22
ボイスレコーダー	14-22
通話中番号メモ	14-23
世界時計	14-24
ファイルのバックアップ	14-26
ナビ設定	14-28
国際電話サービスの設定	14-29
ローミングサービス	14-30
ショートカットメニュー	14-30
プッシュトーンを送る	14-32
イヤホンマイクの利用	14-33

15 オプションサービス

オプションサービスの概要	15-2
転送電話サービス	15-2
留守番電話サービス	15-4
割込通話サービス	15-5

16 アプリ

アプリをご利用になる前に	16-2
アプリの起動	16-2
アプリの一時停止／終了／再開	16-2
アプリカタログ	16-3
機能設定	16-5
電子ブックを読む	16-6
ナビアプリを利用する	16-6

17 付録

機能一覧	17-2
故障かな？と思ったら	17-7
ソフトウェア更新	17-8
絵文字一覧	17-9
ピクチャー一覧	17-10
メモリ容量一覧	17-10
メロディー一覧	17-11
主な仕様	17-11
用語集	17-12
索引	17-13
保証とアフターサービス	17-22
お問い合わせ先	17-23

本書の見かた

本書では、H11Tを「本機」と表記する箇所があります。あらかじめご了承ください。

記号について

本書では、操作の説明に「▶」と「→」を使用しています。

「▶」は項目を順に選択し、目的の操作まで進みます。

「→」は操作の手順を示しています。

項目の選択は基本的に○(センターボタン)で行います。また、操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、ボタン表示について

本書で記載しているディスプレイ表示、ボタン表示は説明用に簡略化しているため、実際のディスプレイ表示、ボタン表示と異なります。

操作説明について

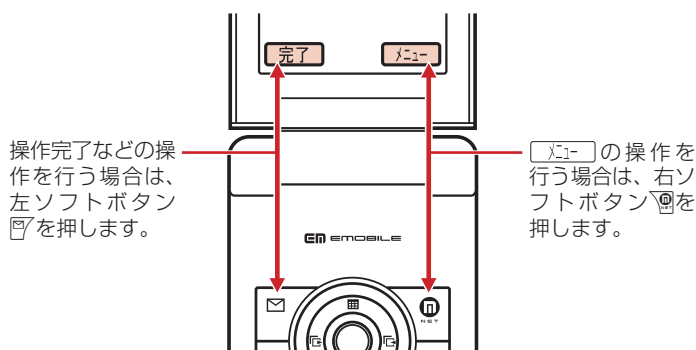
本書は、断りのない限りオープンスタイル(1-9ページ)での操作を記載しております。

お買い上げ時の設定について

お買い上げ時に設定されている各項目の初期値は、機能一覧(17-2ページ)を参照してください。

ソフトボタンの使いかた

画面下の左右に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。








Point!

- ソフトボタンの表示は、利用する機能によって異なります。
- 本書ではソフトボタンを押す場合の操作を以下のように記載しています。
☑(完了) / ◻(メニュー)

マルチファンクションボタンの使いかた

上下や左右を押して項目を選んだり、カーソルを移動します。また中央を押して選んだ内容を決定・実行します。




操作（本書での表記）	機能
上を押すとき 	カレンダーを表示する* / 音量を大きくする / カーソルを上に移す
下を押すとき 	アドレス帳を呼び出す* / 音量を小さくする / カーソルを下に移す
左を押すとき 	発信履歴を呼び出す* / カーソルを左に移す
右を押すとき 	着信履歴を呼び出す* / カーソルを右に移す
中央を押すとき 	待受画面からメインメニューを呼び出す / 選択している項目を決定・実行する / 撮影する（シャッター）

* 待受画面から呼び出せる機能はマルチファンクションボタンの設定（12-14ページ）で変更できません。

安全上のご注意

- ・ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ・ 製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ・ お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
- ・ 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

表示の説明



表示	表示の意味
 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 ^{*1} を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 ^{*1} を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害 ^{*2} を負うことが想定されるか、または物的損害 ^{*3} の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は、 禁止 （してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	ⓘは、 指示 する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- ・ 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してください。

⚠危険



分解禁止

電話機・電池パック・充電用機器・イヤホンマイクを分解・改造・修理しないこと
発熱・破裂・発火・感電・けが・故障の原因となります。
電話機の改造は電波法違反になります。
故障したときの修理は、「お問い合わせ先」（17-23ページ）までご連絡ください。



火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・イヤホンマイクを火の中に入れてたり、加熱しないこと
また、水にぬれた場合でも加熱用機器（電子レンジなど）で強制的に乾燥させないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。



火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・イヤホンマイクを火やストーブのそばなど、高温になる場所で充電・使用・放置しないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。



水ぬれ禁止

電話機・電池パック・充電用機器・イヤホンマイクを水、汗、海水などの液体でぬらさないこと
屋外や浴室など水などがかかる場所に置かないこと
また、周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外してください。また、充電中、水などの液体がかかってしまった場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。ぬれた電池パックは充電しないでください。「お問い合わせ先」（17-23ページ）までご連絡ください。



禁止

電話機と電池パックの取り付けや電話機と充電用機器などの接続は、無理な取り付けまたは接続をしないこと
また、コード類などを使用して（+）（-）を逆に接続しないこと
電池パックの液もれや破裂・発熱・発火・感電・故障の原因となります。



禁止

電池パックの端子部（金属端子部分）に金属片（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないこと
電池パックがショートして、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。



指示

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること
また、電池パックは本機だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。



指示

電話機の電池パックを充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること
また、充電用機器は本機の電池パックの充電だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。



指示

電池パックが液漏れて皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがあるため直ちにきれいな水で洗い流すこと
また、目に入った場合はこすらずにきれいな水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けること
機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ること
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたり、失明のおそれがあります。

警告



禁止

自動車などの運転中に電話機を使用しないこと

また、電話機の通話以外の機能（メール・ゲーム・カメラ・テレビ・ビデオ・音楽再生・電話機内蔵のモバイルライトなど）も使用しないこと

交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



指示

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源を切ること

ガスに引火するおそれがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では携帯電話機の電源を切り、充電もしないでください。



禁止

ストラップ・TVロッドアンテナ・USBケーブル・イヤホンマイクなどを持って振り回さないこと

けがなどの事故や破損の原因となります。



指示

高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること

電子機器に影響を与える場合があります。

影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。

医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときやお手入れをするときは、ACアダプタのプラグをコンセントから抜くこと

感電・火災・故障の原因となります。



指示

航空機内などの使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること

電子機器などに影響を与え、事故の原因となります。

航空機内での携帯電話機の使用は法律で禁止されています。



指示

通話・メール・撮影・テレビ視聴などをするとときは周囲の安全を確認すること

安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



指示

指定の電源・電圧で使用すること

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。

ACアダプタ：家庭用AC100～240V



指示

ACアダプタのプラグにほこりが付着しているときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などで、ほこりをふき取ること

プラグやコンセントにほこりが付着していると、火災の原因となります。



指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに電話機の使用を中止すること

また、電源を切って電話機に触れないこと

落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、使用を中止し、屋内などの安全な場所へ移動してください。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること

発熱・破裂・発火の原因となります。「お問い合わせ先」（17-23ページ）までご連絡ください。



指示

ACアダプタを家庭用ACコンセントに差し込むときは、プラグに金属製ストラップなどの金属類が触れないようにして、確実に差し込むこと

感電・ショート・火災の原因となります。

警告



指示

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

1. 充電中であれば、ACアダプタを家庭用ACコンセントから抜いてください。
2. 電話機が熱くないことを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外してください。

そのまま使用(充電)すると、電池パックが発熱・破裂・発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、「お問い合わせ先」(17-23ページ)までご連絡ください。



禁止

電話機・電池パックを落としたり、強い衝撃を与えないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。



禁止

ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないこと
無理な力がかかるとディスプレイや電池パックなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。



指示

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

1. 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切ってください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3. 医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には電話機を持ち込まない
 - ・病棟内では、電話機の電源を切る
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会)に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」(平成13年3月「社団法人電波産業会」)の内容を参考にしたものです。



禁止

ACアダプタはAC100～240Vの家庭用電源以外では使用しないこと
指定以外の電源をご使用になると火災や充電器の発熱・発火・故障の原因となります。

⚠️ 注意



禁止

電話機・電池パックを直射日光のあたるところや炎天下の車内など、高温になる場所で使用・放置しないこと
発熱・発火・故障の原因となります。



禁止

電話機・電池パック・充電用機器を幼児の手の届く場所には置かないこと
電池パック、メモリカード(市販)などを誤って飲み込んだり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

充電用機器の端子(金属部分)に針金などの金属を接触させないこと
発熱・やけどの原因となります。



禁止

ACアダプタを家庭用ACコンセントやソケットから抜くときは、コードを引っ張らないこと
コードの破損により感電・発熱・発火の原因となります。
ACアダプタを持って抜いてください。



禁止

ACアダプタのコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないこと
また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと
コードの破損により感電・発熱・発火の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないこと
感電・故障の原因となります。



禁止

電話機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと
電話機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なうおそれがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと
落下して、けがや故障の原因となります。パイプレーター設定中は特に気をつけてください。



禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと
不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、端子部にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収にお出しく下さい。
電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。



禁止

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のコモった衣服のポケットなどに入れないこと
汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。



指示

テレビを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を離して使用すること
視力低下になる可能性があります。



指示

テレビの視聴時以外はTVロッドアンテナを収納すること
TVロッドアンテナを引き出したままで通話などをすると、顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

⚠注意



指示

電話機を折りたたむときは、手や物を挟まないように気をつけること
また、電話機を開くときは、ヒンジ部(つなぎ目)に指を挟まないこと
けがやディスプレイ(液晶)などの破損の原因となります。



指示

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること
本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、
お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

● 電話機

使用箇所	使用材料/表面処理
外装ケース (メインディスプレイ側、サブディスプレイ側)	PC 樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理
外装ケース(電池カバースピーカ部)	ABS 樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理
外装ケース(キーパネル側、電池カバー側、 ヒンジカバー部、)	PC / ABS 樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理
メインディスプレイパネル	強化ガラス/ ポリエステルフィルム(アクリル系 UV 硬化処理)
ネジカバー(メインディスプレイパネルシート)	PET フィルム
メインキーパネル	PC 樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理
サイドキー	PC 樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理
クリアランスキーパー	ウレタン系 UV 硬化樹脂
カメラパネル/フラッシュパネル	アクリル樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理
カメラリング	ABS 樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理
着信ランプ	エラストマー樹脂/アクリル系 UV 硬化処理
コーナーキャップ	エラストマー樹脂/アクリル系 UV 硬化処理
充電ランプ	アクリル樹脂
赤外線ポート	アクリル樹脂
メモリカードスロットキャップ	エラストマー樹脂/アクリル系 UV 硬化処理
外部接続端子キャップ	エラストマー樹脂/アクリル系 UV 硬化処理
充電端子	ステンレス/金メッキ(下地ニッケル)
ネジ	鉄/ニッケルメッキ
TV ロッドアンテナ(先端部)	PC・ABS 樹脂
TV ロッドアンテナ(引き出し部、先端側)	PA 樹脂
TV ロッドアンテナ(引き出し部、根元側)	ステンレス鋼
TV ロッドアンテナ(ヒンジ部)	ステンレス鋼
電池カバーロック解除ボタン	POM 樹脂
サブディスプレイパネル	PC 樹脂/アクリル系 UV 硬化塗装処理

● イヤホンマイク

使用箇所	使用材料/表面処理
ケース/ボタン/イヤホン外装/イヤホンメッシュ	ABS 樹脂
クリップ	PC 樹脂
ピンプラグ(接続部)	PBT 樹脂/金メッキ(下地ニッケル)
コード/コネクタ部	スチレン系エラストマー



指示

レシーバー・スピーカにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること
金属片が耳や手などにささるなどして、けがの原因となります。



指示

心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレーター(振動)や着信音量の設定に気をつけること
驚いたりして、心臓に影響を与える可能性があります。

⚠️注意



禁止

モバイルライトを撮影や簡易ライト用途以外に使用しないこと
目がくらむことにより視力障害・けがの原因となります。



禁止

USBケーブルによる充電・ACアダプタによる充電などの際は、紙・布・布団などをかぶせたりしないこと
発熱・発火・やけど・故障の原因となります。



指示

イヤホンマイクなどの使用中は、音量を上げすぎないこと
また、長時間連続して使用しないこと

大きな音で耳を刺激することによって聴力に悪い影響を与えたり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。



禁止

メモ리카ードスロットにメモ리카ード(市販)以外のものを入れないこと
発熱・感電・故障の原因となります。
通常はキャップをはめた状態でご使用ください。



禁止

メモ리카ード(市販)の取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないこと
また、小さなお子様には触らせないこと
カードから指を急に離れた際にカードが飛び出して、けがの原因となります。



禁止

メモ리카ード(市販)のデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモ리카ードを取り出したり、電話機の電源を切らないこと
データ消失・故障の原因となります。



禁止

メモ리카ード(市販)は対応品以外のものを使用しないこと
データ消失・故障の原因となります。
記憶容量が2Gバイト(※2007年12月現在)までのメモ리카ードに対応しています。



禁止

USBケーブル・イヤホンマイクなどを子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所に保管しないこと
誤って、首などに巻きついたりすると、けがの原因となります。



禁止

赤外線通信を使用するときは、赤外線ポートを目に向けないこと
目に影響を与えることがあります。



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて発光させないこと
視力障害の原因となります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。



禁止

EM chipの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないこと
故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。



禁止

EM chipは指定以外のものを使用しないこと
指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。



禁止

TVロッドアンテナを無理に折り曲げないこと
けがやTVロッドアンテナの変形・破損の原因となります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 本機は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話やテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・テレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やテレビ映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 本機はデジタル方式の優位性・特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
- 本機は国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出してのご利用はできません。This product is exclusively for use in Japan.
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
 - ・ 誤った使い方をしたとき
 - ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - ・ 動作中に電源を切ったとき
 - ・ 電池の充電量がなくなった（放電きった）とき
 - ・ 故障したり、修理に出したとき
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくこと徐々に放電していきます。
- メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- 携帯電話を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では携帯電話が熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
- 海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。輸出法令上の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。
- 補聴器をお使いで本機をご使用になる場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。
- 駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

航空機内でのご使用について

- 航空機内では、ご使用にならないでください。
電源も入れないでください。航空機内で携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。

お取り扱いについて

- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 電話機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
電話機・電池パック・充電用機器・イヤホンマイクなどは防水仕様ではありません。
- 電池パックは電源を入れたままはすさないでください。故障の原因となります。
- 電話機から電池パックを長い間はずしていたり、電池残量の少ない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。
なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは端部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。
- 電池パックを取り外すときは、必ずPULLタブを利用して持ち上げてください。PULLタブ以外から持ち上げようとすると、端子部が破損するおそれがあります。
- 本機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
- イヤホンマイクはイヤホンマイク端子にしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。
- イヤホンマイクなどをご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、歩行中などでは周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
- 通常は、イヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップなどをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。
- イヤホンマイクなどを端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。
- 本機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分(1-5ページ)を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
- 買い増し・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- EM chipを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- EM chipを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
- EM chipを濡らさないでください。また、湿気の多いような場所に置かないでください。故障の原因となります。
- EM chipを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。



Li-ion 00

- EM chipを保管する際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。
- EM chipは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりする場合があります。
- EM chipの取扱いについては、ご使用前にEM chipの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- TVロッドアンテナを引き出した状態で、電話機をポケットやカバンなどに入れないでください。無理な力がかかると、TVロッドアンテナの破損の原因となります。
- 解約した場合、本機は利用できなくなります。

モバイルカメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合など法律で認められた範囲を除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- 撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

モバイルライトについて

- 高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。モバイルライトの寿命が短くなることがあります。
- モバイルライトには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

著作権などについて

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標・特許

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more the following United States Patents and / or their counterparts in other nations :

4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239	5,267,262
5,600,754	5,416,797	5,778,338	5,490,165	5,101,501
5,511,073	5,267,261	5,568,483	5,414,796	5,659,569
5,056,109	5,506,865	5,228,054	5,544,196	5,337,338
5,657,420	5,710,784			



JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。



microSDロゴは登録商標です。

Mascot Capsuleは株式会社エイチアイの商標です。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、東芝は、これら商標を使用する許可を受けています。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG-LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.

SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM).

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

EMネット及びEMnetの名称、ロゴはイー・モバイル株式会社の登録商標または商標です。

本製品はAdobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)のFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。

Adobe, Flash, Flash LiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Copyright © 1995-2006 Adobe Macromedia Software LLC. All right reserved.

イー・モバイル及びEMOBILEの名称、ロゴはイー・モバイル株式会社の登録商標または商標です。



本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。Copyright © ACCESS, 2008
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

BookSurfing!は、株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

携帯電話機の非吸収率（SAR）について

この機種H11Tの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg^* の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の高さに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機H11Tも、電波法に定める工事設計認証を受けており、SARの値は 0.244W/kg です。この値は、テュフ ラインランド ジャパン株式会社（登録証明機関）／財団法人テレコムエンジニアリングセンター（測定機関）によって取得されたもので、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ <http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ <http://www.arib-empf.org/initiation/sar.html>

イー・モバイルのホームページ <http://emobile.jp/>

東芝のホームページ <http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/>

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社東芝 モバイルコミュニケーション社 (以下、東芝といひます。) が提供する東芝製携帯電話上のソフトウェア (以下、本ソフトウェアといひます。) を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約 (以下、本契約といひます。) を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様と東芝との間で締結されたものとみなされ、本契約と共に提供される東芝またはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

1. 使用許諾

東芝はお客様ご本人に対し、東芝製携帯電話上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

2. 著作権

本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利は東芝またはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

3. リバースエンジニアリング

お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、東芝はお客様に対する何らの催告を要せず直ちに本契約を解除できるものとします。

4. 保証

本ソフトウェアは現状有姿で提供され、東芝は本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

5. 責任の限定

東芝は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づく東芝の責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。

また、修理や点検の場合、お客様の東芝製携帯電話に登録された情報内容 (アドレス情報など) が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、東芝は一切責任を負いません。

6. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7. 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」 (以下、関係法令等という。) を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8. 第三者ライセンサーの権利

お客様は、本ソフトウェアに関する東芝のライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

以上